

# 野添住吉神社秋祭り(本宮) 宮入り 平成29年10月15日(日)

地域の人が集まる行事として昔から伝統的に受け継がれてきたもので一番知られているのは神社の祭りではないでしょうか。この野添コミセン区内の野添住吉神社も10月14日(土)・15日(日)の2日間、秋祭りがありました。2日もあいにくの雨模様で、当初、8つの自治会から御神輿が出るはずだったのですが、15日の本宮での宮入りは、4つの自治会になってしまいました。それでも雨の中を神社に向かって進む姿は、やはり厳かな雰囲気を感じられるものでした。ここでは宮入の様子を紹介させていただきます。

雨で地面がぬかるむ中、最初に宮入下のは野添中部です。青の半被でそろえ、威風堂々の宮入りでした。



次に登場したのが、鹿の川です。自治会長さんの話によると「担ぎ手が少なく、近隣の方にも助けてもらって宮入させていただきました。」とのこと。それでも一度集まった仲間たちは、威勢の良い乗り子の合図に息を合わせようと一生懸命担ぎ、素晴らしい宮入りでした。



三番目に登場したのが宮ノ裏です。青の法被を身にまとい息のそろった宮入りでした。さすがお膝元とあって気合いが入っていましたよ。



最後は、渋い黒の法被に黄色の褌をそろえ、かわいい子供神輿の後に悠然と登場した駅西です。悪天候も何のその。息の合った宮入りでした。



最後に神主様の祝詞があり、巫女様の舞の後、恒例の練り合わせがありました。野添中部と鹿の川の二つの神輿が練り合うのですが、今年は鹿の川の担ぎ手の集まりが少なく、宮ノ裏や駅西の担ぎ手の方にも手伝ってもらい、祭りを盛り上げることができました。地域の行事はそこに住む一人一人の人の思いが集まって実施されます。かつては先頭になって引っ張っていた方が、「こういった繋がりこそがいざというときに共に助け合う『共助』を生み出すのではないか。」と言っておられたのが印象的でした。忘れてはいけないのは周りの人に頼み込んで最後の練り合いを無事やり遂げた方の思いではないでしょうか。一人では何もできません。ですが誰かが始めなければできないこともたくさんあります。地域の中で一人一人が自らできることをやりましょう。

